

# 主 な 新 聞 記 事

#### **H14.4.19 【読売】 情報公開法 施行から 1 年**

法の“落とし穴”表面化

- ・ 「処理済み」積極開示 進行案件後ろ向き
- ・ 外務省 鈴木氏疑惑で威力 協議記録公開案 政官の透明化期待
- ・ 諮問期限なく 958 件たなざらし
- ・ 懸念生む論理（開示率 89%：部分開示は実質非公開）
- ・ 遅すぎる決定
- ・ 交渉経緯を封印 外交機密

是非に揺れた審査会

- ・ 「消えた記録」の確認も

文書管理の法制化も必要（獨協大学右崎教授）

公務員情報開示 省庁間で格差

政府法人に課題

#### **H14.10.28 【読売】 情報公開法の盲点**

「歴史的資料」の判断基準なし

行政の記録隠し許す恐れも

#### **H14.10.11 【日経】 情報公開法 1 年半**

知る権利阻む官僚の「不開示三原則」 作らず残さず手渡さず

- ・ 廃棄すれば「不開示」に
- ・ 文書化ルール制定が急務
- ・ いたずらな請求 国民側に問題も

#### **H14.11.27～30 【毎日】 情報“非？”公開 法施行後の現実 ～**

特例拡大先延ばし

- ・ 乱用次々「2年後」も  
果たされない説明責任
- ・ 公表済み文書を「不開示」  
疑念抱かせる判断
- ・ 記録あるのに「不存在」  
広がる「黒塗り」
- ・ 10 年前に逆戻り

#### **H15.4.20 【読売】 法施行2年 効果と課題**

情報公開徐々に定着

- ・ 請求件数 23%増 5万9000件超す
- ・ 特殊法人 目立つ不開示
- ・ 異議申立て 不開示の壁
- ・ 先延ばし
- ・ 廃棄など防ぐ法整備必要

例外ルール乱用の恐れ

- ・ 非公開約束規定
- ・ 裁判手続き
- ・ 利用しやすさ

運用監視の機関設置を

法見直しの主な課題

#### **H15.4.22-23 【朝日】 情報公開法施行2年 風穴は開いたか(上)(下)**

上 開示へじわり「圧力」

- ・ 審査会、存在感を發揮 省庁の消極姿勢に注文も
- ・ 6割で判断が逆転
- ・ ずさん文書管理に苦言

迅速な諮問・答申に努力(東京大学宇賀教授)

下 省庁敷居なお高く

- ・ 「文書なし」説明わずか 後から発見のケースも
- ・ 「大量」「多忙」と延期
- ・ 難色・威圧・・・窓口に課題

管理や廃棄、法でルールを(情報公開クリアリングハウス三木室長)

#### **H15.9.5 【毎日】 電ヶ関「情報公開」2年半**

開示期限破り横行

- ・ 外務省、防衛庁が突出
- ・ 「不開示」取り消し4割

期限破り「法の規定に反する」(情報公開クリアリングハウス三木室長)